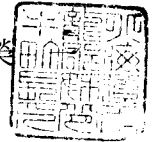


妹 建 第 5 6 号
平成20年10月9日

国土交通省道路局長 様

妹背牛町長 加 藤 榮



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件について、国道企第37号・平成20年9月19日付けで、ご依頼
がありましたので、別紙のとおり回答致しますので、よろしくお取りはからい
お願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道雨竜郡妹背牛町

- 地方自治体の財政規模に応じた補助事業の採択限度額の引き下げ
- 道路構造の見直しを図り、地方公共団体の裁量による、道路維持管理費補助の増設
- 橋梁耐震診断の全額補助

②—1地域の現状と抱える課題

北海道雨竜郡妹背牛町

○現状 位置と地勢 本町は東西8.4km、南北に8.9km、総面積は48.49km²で北海道の中央西部に位置し、東は深川市、南は石狩川をへだてて、滝川市に、西は雨竜川を境にして雨竜町及び北竜町に接し、北は秩父別町に接しています。山や丘陵地帯はなく池や沼地の少ない平坦地で肥沃な土地は農耕に適しておりその70%が農耕地となっています。 人口の推移 昭和35年ピーク時には9,239人いた人口が、現在3,820人(平成20年4月現在)となっており本町に於いても過疎化が進んでいる現状であります。 道路の現状 本町には、国道が無く道道は、主要道路15.5km、一般道道8.6km計24.1kmで、改良・舗装率100%はとなっております。 町道につきましては、実延長139.42km、改良済延長112.21km改良率80.5%舗装済延長97.75km舗装率70.1%、橋梁については、市町界に6橋・町内に83橋計89橋となっております。 本町の道路はかなりの経過年数が建っており老朽化が進み、道路の凹凸や亀裂が目立ち補修や第二次改修及び橋梁の補強・改修が必要箇所が多く見られる現状です。	○課題 本町においては、ある程度の道路整備が進んだ現在、質への転換が求められていることや、公共事業の投資額の抑制が打ち出されていること等を勘案すると、これまで整備された道路、既存ストックを地域の実状に即した維持管理を行い、既存ストックをいかに活用するかが今後の大きな課題である。 それには、道路整備が進むにつれ、その維持管理に要する費用の増加することは当然であるが、これに加え戦後、整備の遅れを取り戻すべく築造された橋梁などの構造物が、今後一斉に更新期を迎えることから、その対応が求められている。 さらに、道路管理の観点からの緊急輸送道路の整備、安全・安心の観点からの防災対策が求められているところである。 これらの観点から、今後、道路維持管理の重要性が増すことは確実に「町民が安心して移動できる交通基盤」を提供するため、年次計画的に維持管理による財源が求められることから。補助基準や採択基準の緩和や拡充、地域の実状・ニーズに沿い相互に調和のとれた道路構造とする柔軟な対応が求められている。
---	--

②—2地域の目指すべき将来像

北海道雨竜郡妹背牛町

1. 道路のネットワークの整備

生活圏・経済圏・医療圏が広域化されるため、これらをつなぐ道路網の整備

2. 災害対策における道路政策

災害対策における幹線道路や災害発生時における迂回路の整備

3. 道路の長寿命化

舗装や橋梁等一部に老朽化や劣化が見られることから、早期な維持管理対策が急務となっている、厳しい財政状況のなか計画的、効率的な道路の維持管理

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

北海道雨竜郡妹背牛町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
	代表事例無し		